

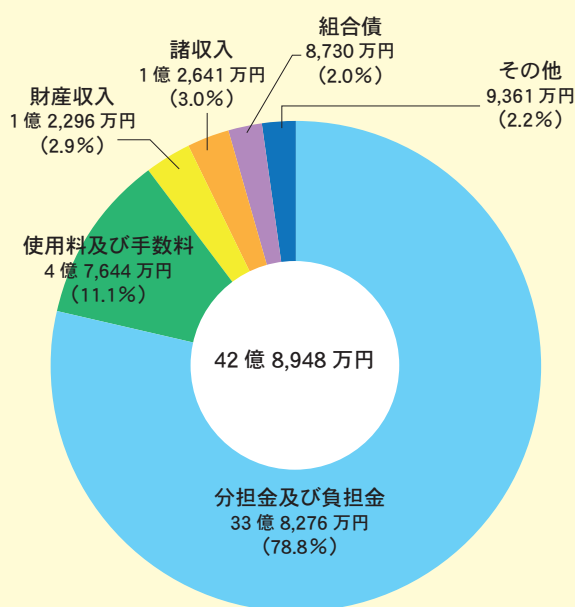
平成23年度

決算報告

市町分担金が平成2年度以降で最少額に

平成23年度一般会計の決算が、組合議会10月定例会で認定されました。平成23年度は、工場運転業務の民間委託の拡大やクリーン21長谷山灰溶融設備の稼働停止など、将来的な歳出総額の計画的抑制に努めました。この結果、市町分担金の決算額は、平成2年度以降で最も少額の33億8,276万円となりました。

平成23年度 歳入 決算額 42億8,948万円



前年度と比べ
5億3,143万円の減額

皆さんからの税金に相当する市町分担金は、前年度と比べ5億2,057万円の減少となりました。これは、歳出面において、財政負担の軽減に最大限の努力を行った成果として表れています。また、夏季の節電対策として、ごみ発電量の増加に取り組んだことにより、売電収入が増収になったことなど、諸収入が前年度と比べ2,552万円の増収となりました。

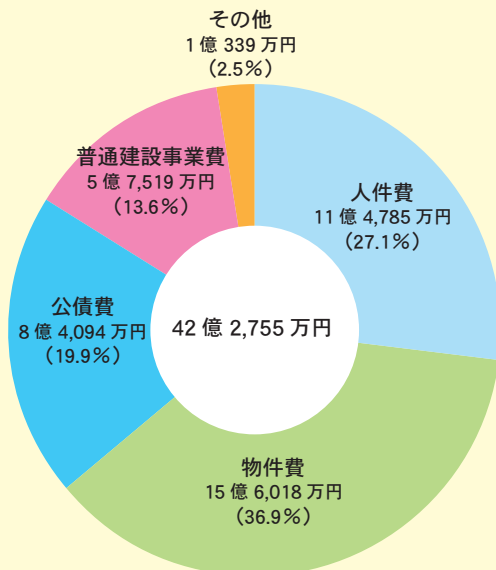
平成23年度の主な取り組み

- ①折居清掃工場と粗大ごみ処理施設等の更新事業の基本計画の策定
- ②クリーン21長谷山構内道路改良工事の実施
- ③ごみ発電、容器包装廃棄物リサイクル事業など循環型社会の構築に向けた事業の一層の推進
- ④環境ISO14001適合自主宣言に基づいた活動及び地球温暖化対策実行計画(第2期)の推進
- ⑤広報紙「エコネット城南」や「環境まつり」などを通じた環境情報の積極的発信

平成23年度 歳出 決算額 42億2,755万円

前年度と比べ
5億2,644万円の減額

人件費は、職員数の削減により、前年度に比べて9,759万円の減額となりました。また、クリーン21長谷山の運転管理経費の縮小や、し尿収集運搬業務委託料が減少したことなどにより、物件費が前年度と比べ1億4,450万円の減額となりました。公債費では、ごみ処理施設などの整備事業に要した借入金の返済完了に伴い、前年度比較で2億9,428万円の大幅な減額となりました。



管内住民の皆さんの経費負担

◇し尿処理 (利用世帯：40,568世帯)
1世帯当たり……………15,909円

◇ごみ処理 (人口：381,421人)
1人当たり……………5,664円

※世帯数、人口は平成24年4月1日現在